

嘔吐物・糞便の正しい処理方法

家族への感染を防ぐために

冬季の感染性胃腸炎の原因として最も多いのがノロウイルスです。家族への感染を防ぐためには、嘔吐物や糞便を正しく処理することが大切です。

まず、処理をする人は、使い捨て手袋、マスク、ガウンやエプロンを着用しましょう。着用したものは廃棄することが望ましいので、不要になった古着などを着用してもよいでしょう。このほか古新聞やペーパータオル、布、密封して廃棄するためのゴミ袋、消毒液（※）を用意します。

ウイルスを含む小さな粒子が空气中に浮遊します。気温が低く、換気が難しい季節ですが、部屋の窓を開ける、換気扇を回すなどして換気をしましょう。市販の空気清浄機では、ノロウイルスを捕捉・殺菌することはできません。



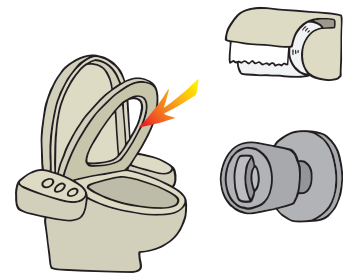
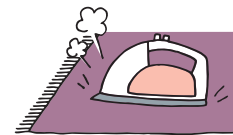
消毒液（次亜塩素酸ナトリウム溶液） または加熱（85℃で1分間以上）が有効

ノロウイルスの消毒には、次亜塩素酸ナトリウム溶液または加熱（85℃で1分間以上）が有効です。

嘔吐物が付着した床などの消毒には、次亜塩素酸ナトリウム0.1%溶液を使用します。衣類やシーツなどは、汚物を静かに拭き取った後、バケツなどで次亜塩素酸ナトリウム0.02%溶液に浸して消毒しましょう。消毒前に洗濯機に入れてしまうと、洗濯機が汚染される恐れがあります。

煮沸消毒も有効です。沸騰した熱湯を掛けただけでは、効果のある温度を維持できません。カーペットなどは、スチームアイロンで1カ所当たり2分程度加熱すれば消毒できます。一般に、家庭用布団乾燥機では十分な消毒効果は得られません。

患者が使ったトイレは、換気しながら消毒しましょう。便座の裏、ペーパーホルダー、ドアノブなども忘れずに消毒してください。



消毒液の作り方

家庭用塩素系漂白剤
（「ハイター」など）

ペットボトルの
キャップ2杯分

10mL

床や便器、便座の裏など（約0.1%溶液）

→ 500mLペットボトルに入れて、水で500mLにする。

衣類やシーツなど（約0.02%溶液）

→ 2Lペットボトルに入れて、水で2Lにする。



Memo